

令和2年度自然体感講座「すごいぞ！北九州の自然(西部編)」(報告)

西部編では、北九州市内でも西部に位置する、響灘ビオトープと八幡薬剤師会附属薬用植物園で、愛好会や専門家のお話を聞きながら、どんな生き物が生息しているのか学んだ。

概要

- 日時 令和2年9月26日(土) 8時30分～16時
- 場所 響灘ビオトープ、八幡薬剤師会附属薬用植物園
- 参加者 9組、19名
- 内容 北九州市西部地域を代表する響灘ビオトープにて、園内散策から人と生物の共存について学ぶ。また皿倉山を訪れ、八幡薬剤師会附属薬用植物園の散策から人と生き物の関わりを知り、自然環境への関心を高める。

【新型コロナウイルス対策】

集合後に非接触式体温計にて検温を行い、「37.5℃以上の参加者は参加できない」旨を連絡。また、活動中のマスク着用の依頼、移動バス車内の席の間隔をあけた座席指定を行った。

当日の様子



スタッフによる
響灘ビオトープ紹介



響灘ビオトープ園内で生き物を探す参加者

薬用植物園の説明を受ける参加者



薬用植物園で五感を使って
体感する参加者

参加者の感想

- ・新しい植物や動物の名前が知れたからよかったです。メダカがぜつめつしそうだなんてはじめて知りました。迷路がむずかしかったです。
- ・響灘ビオトープも、薬用植物園も、ケーブルカーも、初めて行きました。北九州に生まれて50年経ちますが、まだまだ行った事がない所がたくさんあるなと思いました。